

# 研究発表実績リスト (2004年1月～2010年1月)

## 消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績 2004年1月-2010年1月まで

### 論文発表(査読つき)

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年(西暦)
1 フランスに於ける文化財建造物の防犯・防災に関する研究-内部専門組織を活用した安全計画のさらなる総合化-	馬海基樹・後藤治・村上正浩・大橋竜太・関澤 愛	日本建築学会計画系論文集	No.646, pp.2731-2737, (2009.12)
2 住宅火災による死者発生リスクと居住者や住宅の属性との関連性に関する統計的分析	野竹 宏彰・関澤 愛	日本建築学会環境系論文集	No.638, pp.413-419, (2009.04)
3 Study on Availability and Issues of Evacuation using Stopped Escalators in a Subway Station	Kadokura, H., Sekizawa, A., Takahashi, W.	Proceedings of 3rd International Symposium on Human Behaviour in Fire	pp.183-194 (2009. 7)
4 耐震補強工事に対する助成額検討手法の提案と簡易補強工事への応用	廣井悠・小出治・加藤孝明	日本建築学会計画系論文集	No.641, pp.156-159, (2009.7)
5 対策間の相互作用を考慮した防災対策行動予測モデルの提案	廣井悠・小出治・加藤孝明	地域安全学会論文集	No.10, pp.365-375 (2008.11)
6 多目的な防災効果に注目した防災対策選択行動の構造分析	廣井悠・小出治・加藤孝明	都市計画論文集	No.43-3, pp.709-714 (2008.11)
7 Review of A Real Multi-story Store Fire by Applying Evacuation and Smoke Movement Interactive Simulation Model	Sekizawa A., Kakegawa S., Ebihara M.	Proceedings of 9th IAFSS Symposium on Fire Safety Science, Karlsruhe, Germany	(2008.9)
8 Analysis of Effectiveness of Residential Fire Measures by Type of Houses and Attributes of Residents	Notake H., Sekizawa A., Kobayashi M., Mammoto A.	Proceedings of 7th Asia-Oceania Symposium on Fire Science and	(2007.9)
9 Evacuation and Smoke Movement Interactive Simulation Model	Kakegawa S., Notake H., Sekizawa A., Ebihara M.	Proceedings of 7th Asia-Oceania Symposium on Fire Science and	(2007.9)
10 都市火災の物理的延焼性状予測モデルの開発	樋本圭佑・田中喙義	日本建築学会環境系論文集	No.607, pp.15-22 (2006.9)
11 放水の物理的火災抑制効果に着目した地域住民の消火活動モデル	樋本圭佑・幾代健司・秋元康男・北後明彦・田中喙義	日本火災学会論文集	第56巻, 第3号, pp9-19 (2006.12)
12 Performance Verification Method of Pressurization Smoke Control System for a Staging Area of Firefighting and Rescue Activity	Notake H., Sekizawa A.	Proceedings of 6th International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods	pp.196-204 (2006.6)
13 AN EXAMINATION OF FEASIBILITY OF ELEVATOR EVACUATION BASED ON RISK ASSESSMENT	Nakahama S., Ebihara M., Sekizawa H., Ikehata Y., Notake H.	Proceedings of 8th IAFSS Symposium on Fire Safety Science, Beijing, China	2005.9
14 Care of Vulnerable Populations: Who are Vulnerable to Fires and What Care is Needed for Their Fire Safety?	Sekizawa A.	Proceedings of 3rd International Symposium on Human Behaviour in Fire	pp.267-278, 2004.9
15 HOW TO SAVE THE LIVES OF VULNERABLE PEOPLE FROM RESIDENTIAL FIRES?	Hiroaki Notake, Ai Sekizawa, Masayuki Kobayashi, Atsushi Mammoto, Manabu	Proceedings of 3rd International Symposium on Human Behaviour in Fire	2004.9
16 Analysis on efficiency of evacuation using elevators in a high-rise building	Manabu Ebihara, Ai Sekizawa, Shinji Nakahama, Yuka Ikehata, Hiroaki Notake	Proceedings of 3rd International Symposium on Human Behaviour in Fire	2004.9
17 Feasibility Study of Use of Elevators in Fire Evacuation in a High-rise Building	A. Sekizawa, S.Nakahama, NOTake H., M.Ebihara, Y.Ikehata	Proceedings of 6th Asia-Oceania Symposium on Fire Science and	pp.235-246, 2004.3.
18 Study on Measures for Mitigating the Risk of Residential Fires and Fire Fatalities	Hiroaki Notake, Sekizawa A., M.Kobayashi, A.Mammoto, M.Ebihara	Proceedings of 6th Asia-Oceania Symposium on Fire Science and	pp.500-511, 2004.3.
19 Study on Feasibility of Evacuation using Elevators in a High-rise Building -- Is Use of Elevator in Evacuation Really Effective for General People? --	A. Sekizawa, S. Nakahama, NOTake H., M. Ebihara, Y. Ikehata	Proceedings of Workshop on the Use of Elevators in Fires and Other Emergencies (ASME)	2004.3

### 学位取得・受賞など

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年(西暦)
1 都市空間における防災対策の行動モデリングと制度設計への応用	廣井悠	博士(工学): 東京大学	2010.1
2 対策間の相互作用を考慮した防災対策行動予測モデルの提案	廣井悠	地域安全学会論文奨励賞	2008.11
3 都市火災の物理的延焼性状予測モデルの開発	樋本圭佑	建築学会奨励賞	2008.4
4 耐震補強工事の助成額検討手法とその応用	廣井悠	自然災害学会学術優秀発表賞	2008.10
5 HATS OFF AWARD	Sekizawa A.	Society of Fire Protection Engineers	2007.1

次ページに続く

消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績（続き） 2004年1月-2010年1月まで

口頭発表(その1)

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年(西暦)
1 商業施設における地震時の避難シミュレーションに関する研究	原田隼輔・北後明彦・関澤愛・掛川秀史	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
2 高層事務所ビルの全館避難訓練時における階段歩行に関する実測調査とその分析 その2	門倉博之・関澤愛・佐野友紀・岡部弘志	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
3 住宅火災に潜在するヒヤリ・ハット事故の分析(その4) -リスクの違いによるヒヤリ・ハット事象の分析-	江幡弘道・関澤愛・万本敦・山内幸雄・本田一賀・箭内英治・若月薫	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
4 住宅火災に潜在するヒヤリ・ハット事故の分析(その5) -ハインリッヒの法則とヒヤリ・ハット事象におけるリスクの階層性-	万本敦・関澤愛・江幡弘道・山内幸雄・本田一賀・箭内英治・若月薫	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
5 地域消防力の向上に関する実験的研究	田中啓義・関澤愛・北後明彦・西田幸夫・石原慶大・内山彬光・松浦朋裕	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
6 地域の自主防災力が置かれている現状と課題 -政令指定都市等の大都市における実態調査を元に-	岡部弘志・関澤愛・清水智乗・杉井完治	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
7 東京23区における自主防災組織に期待される役割と現状について	清水智乗・関澤愛・岡部弘志・杉井完治	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
8 延焼と消防力運用のシミュレーション予測による市街地の地震火災リスク評価	関澤愛・佐々木克憲・山瀬敏郎・座間信作・遠藤真・岡部弘志	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
9 地震火災時における地域消防力の簡易評価手法の開発	北後明彦・久保一樹・田中啓義・関澤愛・西田幸夫・樋本圭祐	日本火災学会研究発表会梗概集	(2009.5)
10 地震保険の割引率とその影響分析	廣井悠・小出治・加藤孝明	地域安全学会梗概集	(2009.6)
11 高層建築物の全館避難時における階段歩行に関する研究 高層事務所ビルの避難訓練時における実測調査の分析	関澤愛・佐野友紀・門倉博之	建築学会梗概集	(2009.8)
12 住宅におけるヒヤリ・ハット火災事象に関する実態調査と分析(その4) リスクの違いによるヒヤリ・ハット事象の分析	江幡弘道・関澤愛・万本敦・山内幸雄・若月薫	建築学会梗概集	(2009.8)
13 住宅におけるヒヤリ・ハット火災事象に関する実態調査と分析(その5) ハインリッヒの法則とヒヤリ・ハット事象におけるリスクの階層性	万本敦・関澤愛・江幡弘道・山内幸雄・若月薫	建築学会梗概集	(2009.8)
14 東京23区における自主防災組織に期待される役割と現状 23区の防災主管課に対するヒアリング調査結果の考察	清水智乗・関澤愛	建築学会梗概集	(2009.8)
15 地震保険制度における建築年割引の妥当性とその応用	廣井悠・小出治・加藤孝明	建築学会梗概集	(2009.8)
16 国宝・重要文化財建造物の防災に関する共助体制について 元興寺、十輪院、福智院を例として	高山基・後藤治・関沢愛・廣井悠	建築学会梗概集	(2009.8)
17 震災時における消防部隊の初期出場方式の違いによる延焼抑制効果の比較分析	関澤愛・佐々木克憲・杉井完治・山瀬敏郎・座間信作・遠藤真	地域安全学会梗概集	(2009.11)
18 自主防災組織に期待される役割と現状-東京23区の防災主管課に対するヒアリング調査結果の考察-	清水智乗・関澤愛・大岩大祐・杉井完治	地域安全学会梗概集	(2009.11)
19 リスク情報の入手に関する数理モデルとその応用	廣井悠・小出治・加藤孝明	災害情報学会大会予稿集	(2009.10)
20 消防力最適運用支援システムを用いた市街地の地震火災リスク評価	関沢愛・佐々木克憲・山瀬敏郎・座間信作・遠藤真・岡部弘志	地域安全学会梗概集	No.23, pp.1-4 (2008.11)
21 平成19年(2007年)能登半島地震において住宅被害が大きかった住民へのアンケート調査結果(2) 負傷者の特徴	篠原雅彦・関沢愛・山田常圭	地域安全学会梗概集	No.23, pp.65-68 (2008.11)
22 地震災害に対する緊急消防援助隊の到達時期について	鄭炳表・新井場公德・杉井完治・座間信作・岡部弘志・関沢愛	地域安全学会梗概集	No.23, pp.13-16 (2008.11)
23 耐震補強工事に対する助成額の検討と簡易補強工事への応用	廣井悠・小出治・加藤孝明	土木計画学研究・講演集	vol.37(2008.06)
24 消防力最適運用支援システムを用いた市街地の地震火災リスク評価	関沢愛・佐々木克憲・山瀬敏郎・座間信作・遠藤真・岡部弘志	土木計画学研究・講演集	vol.37(2008.06)
25 停止エスカレーター使用時の群集避難行動特性と安全性に関する実験的研究 乗り口における整流ガイドの設置による歩きやすさ等の改善効果について	岡部弘志・佐藤歩・門倉博之・西田幸夫・辻本誠・関澤愛	日本建築学会大会学術講演梗概集	(2008.10)
26 火災統計からみた住宅火災における焼損指標と損害規模の関連性	野竹宏彰・関澤愛・万本敦・岡部弘志	日本建築学会大会学術講演梗概集	(2008.10)
27 住宅におけるヒヤリ・ハット火災事象に関する実態調査と分析(その3) ヒヤリ・ハット事象と火災統計データとの比較	関澤愛・万本敦・江幡弘道・本多一賀・山内幸雄・箭内英治・若月薫	日本建築学会大会学術講演梗概集	(2008.10)
28 住宅におけるヒヤリ・ハット火災事象に関する実態調査と分析(その2) 台所における発生事象の分析	万本敦・関澤愛・江幡弘道・本多一賀・山内幸雄・箭内英治・若月薫	日本建築学会大会学術講演梗概集	(2008.10)
29 住宅におけるヒヤリ・ハット火災事象に関する実態調査と分析(その1) 調査概要と居室における発生事象の分析	江幡弘道・関澤愛・万本敦・本多一賀・山内幸雄・箭内英治・若月薫	日本建築学会大会学術講演梗概集	(2008.10)
30 超高層住宅を対象としたエレベータ利用避難に関する研究	中浜慎司・関沢愛・池島由華・海老原学・野竹宏彰	日本建築学会大会学術講演梗概集	(2008.10)
31 耐震補強工事の助成額に関する一考察	廣井悠・小出治・加藤孝明	日本建築学会大会学術講演梗概集	(2008.10)
32 耐震補強工事の助成額検討手法とその応用	廣井悠・小出治・加藤孝明	自然災害学会梗概集	(2008.10)

次ページに続く

消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績（続き） 2004年1月-2010年1月まで

口頭発表(その2)

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年（西暦）
33	リスク認知形成モデルを用いた防災情報の波及効果の検討	廣井悠・小出治・加藤孝明	災害情報学会大会大会予稿集 (2008.10)
34	地震火災時における地域消防力評価手法に関する研究	芝真里子, 北後明彦, 秋元康男, 榎本圭佑, 関沢愛, 諸隈貴寛, 西田幸夫, 田中喙義	日本火災学会研究発表会概要集 pp.222-223 (2008.5)
35	住民の消火用可搬ポンプの操作能力に関する研究	諸隈貴寛, 榎本圭佑, 芝真里子, 秋元康男, 西田幸夫, 関沢愛, 北後明彦, 田中喙義	日本火災学会研究発表会概要集 pp.220-221 (2008.5)
36	平成19年(2007年)能登半島地震において住宅被害が大きかった住民へのアンケート調査結果	篠原雅彦, 山田常主, 関沢愛	日本火災学会研究発表会概要集 pp.216-217 (2008.5)
37	関東大震災における東京市の避難に関する研究	平野将樹, 西田幸夫, 辻本誠	日本火災学会研究発表会概要集 pp.214-215 (2008.5)
38	火災統計からみた住宅火災における焼損指標と損害規模との関連性の分析	野竹宏彰, 関沢愛, 万本敦, 岡部弘志	日本火災学会研究発表会概要集 pp.174-175 (2008.5)
39	住宅用火災警報器の普及率とその傾向に関する調査	江幡弘道, 関沢愛, 万本敦, 山内幸雄, 本田一賢, 箭内英治, 若月薫	日本火災学会研究発表会概要集 pp.172-173 (2008.5)
40	住宅火災に潜在するヒヤリ・ハット事故の分析-その3 ヒヤリ・ハット事故と火災統計データとの比較-	関沢愛, 万本敦, 本田一賢, 山内幸雄, 江幡弘道, 箭内英治, 若月薫	日本火災学会研究発表会概要集 pp.170-171 (2008.5)
41	住宅火災に潜在するヒヤリ・ハット事故の分析-その2 台所における発生事象の分析-	万本敦, 関沢愛, 本田一賢, 山内幸雄, 江幡弘道, 箭内英治, 若月薫	日本火災学会研究発表会概要集 pp.168-169 (2008.5)
42	住宅火災に潜在するヒヤリ・ハット事故の分析-その1 アンケート調査の概要と居室における発生事象の分析-	本田一賢, 関沢愛, 万本敦, 江幡弘道, 山内幸雄, 箭内英治, 若月薫	日本火災学会研究発表会概要集 pp.166-167 (2008.5)
43	超高層住宅を対象とした非常用エレベータ利用避難に関する研究	中濱慎司, 関沢愛, 池田由華, 海老原学, 野竹宏彰	日本火災学会研究発表会概要集 pp.82-83 (2008.5)
44	高層事務所ビルの全館避難訓練時における階段歩行に関する実測調査とその分析	関沢愛, 佐野友紀, 岡部弘志, 門倉博之, 諸星芳行	日本火災学会研究発表会概要集 pp.70-71 (2008.5)
45	停止エスカレーターにおける避難行動特性に関する実験的研究-その3 エスカレーターの高低差と歩行速度	門倉博之, 佐藤歩, 岡部弘志, 西田幸夫, 辻本誠, 関沢愛	日本火災学会研究発表会概要集 pp.68-69 (2008.5)
46	停止エスカレーターにおける避難行動特性に関する実験的研究-その2 乗り口降り口における流動特性値	岡部弘志, 佐藤歩, 門倉博之, 西田幸夫, 辻本誠, 関沢愛	日本火災学会研究発表会概要集 pp.66-67 (2008.5)
47	停止エスカレーターにおける避難行動特性に関する実験的研究-その1 地下駅舎のエスカレーターの避難問題と実験計画	佐藤歩, 門倉博之, 岡部弘志, 西田幸夫, 辻本誠, 関沢愛	日本火災学会研究発表会概要集 pp.64-65 (2008.5)
48	地震時の什器の転倒を考慮した建築物からの非難に関する研究	原田曜輔, 北後明彦, 関沢愛, 掛川秀史	日本火災学会研究発表会概要集 pp.46-47 (2008.5)
49	首都直下地震における復興状況の想定トレーニング手法の構築に関する研究報告 - 埼玉県における取り組み -	加藤孝明・中村仁・佐藤慶一・廣井悠	地域安全学会梗概集 No.22, pp.21-26 (2008.05)
50	耐震補強工事に関する行動分析と助成額の最適化	廣井悠・小出治・加藤孝明	地域安全学会梗概集 No.22, pp.33-38 (2008.05)
51	住宅タイプ・居住者属性を考慮した火災による死者発生リスクの分析	野竹宏彰・関沢愛・万本敦・小林将之	日本建築学会大会学術講演梗概集 A-2, pp.181-182 (2007.8)
52	天ぷら油火災に対する住宅用火災警報器の応答特性(その1) 実験による火災検出性能の確認	万本敦・江幡弘道・山内幸雄・関沢愛	日本建築学会大会学術講演梗概集 A-2, pp.223-224 (2007.8)
53	天ぷら油火災に対する住宅用火災警報器の応答特性(その2) 計算モデルによる検証	江幡弘道・万本敦・山内幸雄	日本建築学会大会学術講演梗概集 A-2, pp.225-226 (2007.8)
54	超高層ビルを対象としたエレベータ利用避難の有効性に関する考察 エレベーター乗降時の流入出調査とエレベーター利用避難の運行方法の検討	関沢愛・中濱慎司・池田由華・海老原学・野竹宏彰	日本建築学会大会学術講演梗概集 A-2, pp.275-278 (2007.8)
55	要介助者の避難時助行動のモデル化 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究 - その1 2 -	掛川秀史・海老原学・関沢愛・野竹宏彰	日本建築学会大会学術講演梗概集 A-2, pp.299-300 (2007.8)
56	避難シミュレーションに基づく階段室内の群衆流動性状に関する検討 - 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究(その1 3) -	海老原学・掛川秀史・関沢愛・野竹宏彰	日本建築学会大会学術講演梗概集 A-2, pp.301-302 (2007.8)
57	地域住民の防災行動力の実態に関するアンケート調査 - 震災時等の火災に対する地域消防力の評価に関する研究(その4) -	諸隈貴寛・関沢愛・西田幸夫・小林将之	日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1, pp.341-342 (2007.8)
58	ICTの活用と地域住民・自治体の協働による地震防災対策に関する研究(その4: 地域住民による分散型防災対応訓練について)	井上卓哉・久田嘉章・村上正浩・座間信作・関沢愛	日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1, pp.367-368 (2007.8)
59	高齢社会における火災リスクとどう向き合うか	関沢愛	安全工学シンポジウム講演予稿集 pp.183-186 (2007.7)
60	煙流動が避難行動に与える影響のモデル化 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究 - その10 -	掛川秀史・海老原学・関沢愛・野竹宏彰・大脇厚	日本火災学会研究発表会概要集 pp.12-13 (2007.5)
61	高層事務所ビルにおける避難誘導方法が全館避難に与える影響 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究(その11)	海老原学・掛川秀史・関沢愛・野竹宏彰・大脇厚	日本火災学会研究発表会概要集 pp.14-15 (2007.5)
62	地域住民の防災行動力の実態に関するアンケート調査 - 震災時等の火災に対する地域消防力の評価に関する研究(その3) -	諸隈貴寛・関沢愛・西田幸夫	日本火災学会研究発表会概要集 pp.120-121 (2007.5)
63	台所に設置された住宅用火災警報器の天ぷら油火災に対する応答特性(その1) - 実験による火災検出性能の確認 -	万本敦・江幡弘道・山内幸雄・関沢愛	日本火災学会研究発表会概要集 pp.220-221 (2007.5)
64	小規模区画模型実験による注水の火災抑制効果に関する基礎的検討 その1 実験概要	石原慶太・榎本圭佑・箭内英治・砂原弘幸・吉川昭光・関沢愛・田中喙義	日本火災学会研究発表会概要集 pp.230-231 (2007.5)

次ページに続く

消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績（続き） 2004年1月-2010年1月まで

口頭発表(その3)

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年(西暦)
65 小規模区画模型実験による注水の火災抑制効果に関する基礎的検討 その2 実験結果の考察	砂原弘幸・吉川昭光・関沢愛・田中喟義	日本火災学会研究発表会概要集	pp.232-233 (2007.5)
66 住宅火災による死傷者発生傾向の実態に関する分析-住宅火災による死傷者発生リスクとその低減対策に関する研究(その1)-	関沢愛・万本敦・小林将之・野竹宏彰	日本火災学会研究発表会概要集	pp.266-267 (2007.5)
67 地域特性から見た火災による死者発生リスクの傾向に関する分析	小林将之・関沢愛・万本敦・野竹宏彰	日本火災学会研究発表会概要集	pp.268-269 (2007.5)
68 住宅タイプ・居住者属性を考慮した火災による死者発生リスクの要因分析	野竹宏彰・関沢愛・万本敦・小林将之	日本火災学会研究発表会概要集	pp.270-271 (2007.5)
69 住宅火災による死者発生リスクと高齢社会	関沢愛・野竹宏彰・小林将之・万本敦	日本リスク研究学会・第19回研究発表会講演論文集	第19巻, 第3号, pp141-144 (2006.11)
70 住宅タイプ別・居住者属性別にみた住宅防火対策の影響に関する分析 住宅火災による人的・物的損害リスクの軽減対策に関する研究:その5	野竹宏彰・関沢愛・万本敦・小林将之・野崎洋之	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.173-174 (2006.9)
71 住宅における放火火災の類型化と住宅形式ごとの出火箇所と着火物の傾向	小林将之・万本敦・野崎洋之・関沢愛	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.175-176 (2006.9)
72 住宅用火災警報器の火災検出性能を評価するための火源モデルに関する研究	万本敦・江幡弘道・山内幸雄・箭内英治・関沢愛・本多一賀	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.203-204 (2006.9)
73 住宅におけるゴミ箱から建具への初期拡大火災の再現と基礎データの収集	江幡弘道・万本敦・山内幸雄・箭内英治・関沢愛・本多一賀	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.205-206 (2006.9)
74 移動目標の変更を伴う階避難歩行モデルに関する検討-煙流動・避難行動連携モデルに関する研究(その7)-	海老原学・関沢愛	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.291-292 (2006.9)
75 階段内歩行モデルによる全館避難の検討 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究-その8-	掛川秀史・海老原学・関沢愛・野竹宏彰	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.293-294 (2006.9)
76 煙流動・避難行動連携モデルによる1990年長崎屋形店火災の検討 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究-その9-	関沢愛・海老原学	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.295-296 (2006.9)
77 市街地延焼予測に関する建築物開口割合の実測手法に関する研究	杉本綾亮・榎本圭佑・田中喟義	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.319-320 (2006.9)
78 密集市街地における建築物の地震被害を反映した延焼性状予測モデルの開発	秋元康男・榎本圭佑・北後明彦・田中喟義	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.323-324 (2006.9)
79 京都市東山区の火災安全性評価に関する基礎的検討	榎本圭佑・杉本綾亮・田中喟義	日本建築学会大会学術講演梗概集	A-2, pp.325-326 (2006.9)
80 住宅におけるゴミ箱から建具への初期拡大火災の再現と基礎データの収集	江幡弘道・万本敦・山内幸雄・箭内英治・関沢愛・藤本龍雄・土井敏行・本多一賀	日本火災学会研究発表会概要集	pp.270-273 (2006.5)
81 町丁目単位とした地域消防力の評価方法の検討	井手寛貴・関沢愛・西田幸夫	日本火災学会研究発表会概要集	pp.334-337 (2006.5)
82 出火場所・出火時間等別にみた住宅火災における放火の傾向	小林将之・関沢愛・万本敦・野竹宏彰・野崎洋之	日本火災学会研究発表会概要集	pp.352-355 (2006.5)
83 住宅タイプ別・居住者属性別にみた住宅火災対策の影響に関する分析 住宅火災による人的・物的損害リスクの軽減対策に関する研究その5	野竹宏彰・関沢愛・万本敦・小林将之・野崎洋之	日本火災学会研究発表会概要集	pp.356-359 (2006.5)
84 住宅用火災警報器の火災感知性能を評価するための火源モデルに関する研究	万本敦・江幡弘道・山内幸雄・箭内英治・関沢愛・藤本龍雄・土井敏行・本多一賀	日本火災学会研究発表会概要集	pp.234-237 (2006.5)
85 階段内歩行のモデル化による全館避難の検討 煙流動・避難行動連携モデル-その5-	掛川秀史・海老原学・関沢愛・野竹宏彰・大脇厚	日本火災学会研究発表会概要集	pp.482-435 (2006.5)
86 延焼シミュレーションによる京都市東山区の火災安全性評価	榎本圭佑・杉本綾亮・田中喟義	日本火災学会研究発表会概要集	pp.338-341 (2006.5)
87 市街地延焼予測に関する建築物開口割合の実測手法に関する研究	杉本綾亮・田中喟義・榎本圭佑・秋元康男・北後明彦	日本火災学会研究発表会概要集	pp.322-325 (2006.5)
88 密集市街地における建築物の地震被害を反映した延焼性状予測モデルの開発-兵庫県南部地震に伴う市街地大火の検証-	秋元康男・幾代健司・杉本綾亮・榎本圭佑・北後明彦・田中喟義	日本火災学会研究発表会概要集	pp.310-313 (2006.5)
89 地域消防活動を反映した延焼性状予測モデルの開発-街区特性に応じた密集市街地の火災リスク低減対策の検討-	北後明彦・幾代健司・秋元康男・榎本圭佑・田中喟義	日本火災学会研究発表会概要集	pp.318-321 (2006.5)
90 煙流動・避難行動連携モデルによる1990年長崎屋形店火災の検討 煙流動・避難行動連携モデル-その6-	関沢愛・掛川秀史・海老原学・野竹宏彰・大脇厚	日本火災学会研究発表会概要集	pp.486-489 (2006.5)
91 エレベータ避難モデルの感度分析と火災シナリオを考慮したリスク評価	中濱慎司・海老原学・関沢愛・池田由華・野竹宏彰	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
92 避難シミュレーションに基づく移動能力の異なる人々が混在する群衆の行動予測 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究-その3-	掛川秀史・海老原学・関沢愛・野竹宏彰	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
93 避難シミュレーションに基づくフロア内の群衆流動性状に関する検討 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究-その4-	海老原学・掛川秀史・関沢愛・野竹宏彰	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
94 避難シミュレーションを用いた地下駅構内の避難性状の分析 地下駅空間における火災時の避難安全性の検証:その1	門倉博之・末松孝司・関沢愛・海老原学・高橋 済	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
95 二層ゾーンモデルを用いた地下駅空間における煙拡散性状予測 地下駅空間における火災時の避難安全性の検証:その2	高橋 済・関沢愛・海老原学・末松孝司・門倉博之	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
96 地下駅における煙の拡散影響を考慮した火災時避難安全性の検討 地下駅空間における火災時の避難安全性の検証:その3	関沢愛・海老原学・門倉博之・末松孝司・高橋 済	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8

次ページに続く

消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績（続き） 2004年1月-2010年1月まで

口頭発表(その4)

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年（西暦）
97 住宅タイプ別・居住者属性別にみた住宅火災における死者発生傾向の分析 住宅火災による人的・物的損害リスクの軽減対策に関する研究：その4	小林将之、関沢 愛、万本 敦、野竹宏彰、海老原学	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
98 住宅における初期火災の煙流動性状に関する研究(その1)	万本 敦、中島悟史、江幡弘道、山内幸雄、前内英治、関沢 愛、篠原雅彦、本多一賀	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
99 住宅における初期火災の煙流動性状に関する研究(その2)	江幡弘道、中島悟史、万本 敦、山内幸雄、前内英治、篠原雅彦、関沢 愛、本多一賀	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
100 震災時等の火災に対する地域消防力の評価に関する研究	井手寛貴、関沢 愛、西田 幸夫	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
101 アンケート調査結果に基づく避難行動特性の違いについて	中野陽介、海老原学、大宮喜文、佐野友紀、掛川秀史	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
102 マドリッド市ウィンザービル火災調査 その3 全館火災にいたる延焼過程	矢代嘉郎、関沢 愛、萩原一郎、道越真太郎	2005年度日本建築学会大会学術講演会	2005.8
103 製造業における火災事故の損害規模別の傾向と特徴	小林将之、関沢 愛	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
104 建物タイプ別・居住者属性別にみた住宅火災における死者発生傾向の分析 住宅火災による死者発生および建物損害リスクの軽減対策に関する研究（その4）	野竹宏彰、関沢 愛、小林将之、万本 敦、海老原学	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
105 震災時等の火災に対する地域消防力の評価に関する研究	井手寛貴、関沢 愛、西田 幸夫	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
106 住宅における初期火災の煙流動性状に関する研究（その1） 半実大実験による初期火災シナリオの再現と基礎データの収集	中島悟史、江幡弘道、万本 敦、山内幸雄、前内英治、関沢 愛、篠原雅彦、藤本龍雄、本多一賀、山本和成、土井敏行	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
107 住宅における初期火災の煙流動性状に関する研究（その2） 再現実験による火源データを用いたシミュレーションと実大実験結果の比較	江幡弘道、中島悟史、万本 敦、山内幸雄、前内英治、関沢 愛、篠原雅彦、藤本龍雄、本多一賀、山本和成、土井敏行	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
108 火災時の視界確保のための消煙装置の開発	富松一隆、上田泰稔、神 忠久、関沢 愛、海老原学	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
109 火災シナリオを考慮したエレベータ避難の有効性に関する検討	中濱慎司、海老原学、関沢 愛、池田由華、野竹宏彰	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
110 シミュレーションモデルの構成 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究（その1）	海老原学、掛川秀史、関沢 愛、野竹宏彰、大脇 厚	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
111 シミュレーションモデルの基本特性 煙流動・避難行動連携モデルに関する研究（その2）	掛川秀史、海老原学、関沢 愛、野竹宏彰、大脇 厚	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
112 避難シミュレーションによる地下鉄駅構内避難性状の分析 - 避難と煙拡散予測モデルを用いた地下鉄駅における火災時の避難安全性の検証（その1） -	門倉博之、末松孝司、関沢 愛、海老原学、高橋 済	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
113 非常二層ゾーンモデルを用いた地下駅空間における煙拡散性状の予測 - 避難と煙拡散予測シミュレーションを用いた地下鉄駅における避難安全性の検証（その2） -	高橋 済、関沢 愛、海老原学、末松孝司、門倉博之	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
114 煙の影響を考慮した地下鉄駅における火災時避難安全性の検討 - 避難と煙拡散予測モデルを用いた地下鉄駅における火災時の避難安全性の検証（その3） -	関沢 愛、海老原学、末松孝司、門倉博之、高橋 済	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
115 アンケート調査結果に基づく避難行動特性の違いについて 火災時の建物用途別避難行動特性の解明（その1）	中野陽介、海老原学、中村征二、佐野友紀、大宮喜文、掛川秀史	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
116 アンケート調査結果に基づく避難者タイプ分類 火災時の建物用途別避難行動特性の解明（その2）	海老原学、中野陽介、中村征二、佐野友紀、大宮喜文、掛川秀史	2005年度日本火災学会研究発表会	2005.5
117 地域特性と消防団員数の関連性に関する考察	小林将之、関沢 愛	2004年度地域安全学会研究発表会	2004.11
118 二階建て住宅を模擬した空間における煙流動性状	江幡弘道、本多一賀、山内幸雄、万本 敦、中島悟史、前内英治、関沢 愛	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
119 エレベータ避難の利用可能性に関する研究(その1) - エレベータ避難モデルの開発 -	中濱慎司、海老原学、関沢 愛、池田由華、野竹宏彰	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
120 エレベータ避難の利用可能性に関する研究(その2) - エレベータ避難モデルの開発 -	海老原学、中濱慎司、関沢 愛、池田由華、野竹宏彰	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
121 住宅タイプ別にみた居住者特性と住宅火災リスクの分析 住宅火災による人的・物的損害リスクの軽減対策に関する研究：その1	関沢 愛、野竹宏彰、小林将之、万本 敦、海老原学	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
122 住宅火災による死者発生傾向の分析とその類型化 住宅火災による人的・物的損害リスクの軽減対策に関する研究：その2	小林将之、関沢 愛、万本 敦、野竹宏彰、海老原学	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
123 人命危険性の視点から考察した住宅火災の特徴と防火対策の可能性 住宅火災による人的・物的損害リスクの軽減対策に関する研究：その3	万本 敦、関沢 愛、野竹宏彰、小林将之、海老原学	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
124 耐火建築物の用途別に見た焼損床面積と消防活動時間に関する分析	野竹宏彰、関沢 愛	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
125 住宅における初期火災の典型パターンとその再現	前内英治、中島悟史、江幡弘道、万本 敦、山内幸雄、関沢 愛、本多一賀	2004年度日本建築学会大会学術講演会	2004.8
126 建物種類別にみた高齢化と住宅火災発生傾向の分析	野竹宏彰、関沢 愛、万本 敦、小林将之、海老原学	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
127 住宅火災における死者発生の特徴と類型分析	小林将之、関沢 愛、万本 敦、野竹宏彰、海老原学	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
128 住宅火災における火災特性と人命危険性との関連性	万本 敦、関沢 愛、野竹宏彰、小林将之、海老原学	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5

次ページに続く

消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績（続き） 2004年1月-2010年1月まで

口頭発表(その5)

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年（西暦）
129 開口部噴出火炎形状の予測モデルとケーススタディー	山田常生、栗岡 均、箭内英治、鈴木 健、飯田明彦、関沢 愛、佐藤博臣、篠原雅彦	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
130 火災統計データの分析による典型的初期火災パターンの抽出	関沢 愛、万本 敦、山内幸雄、箭内英治、江幡弘道、本多一賀、土井敏行	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
131 抽出されたパターンの再現実験	中島信史、江幡弘道、万本 敦、箭内英治、山内幸雄、関沢 愛、土井敏行、本多一賀	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
132 日本の住宅における燻焼火災の煙とCO発生挙動の把握	山本和成、本道正樹、山内幸雄、関沢 愛	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
133 二階建て住宅を模擬した空間における煙流動性状	江幡弘道、藤本龍雄、山内幸雄、万本 敦、中島信史、箭内英治、関沢 愛	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
134 材料からのCO発生量を把握するための研究 - 流動層型燃焼炉を使用したCO発生量の把握 -	江幡弘道、万本 敦、山内幸雄、箭内英治、関沢 愛、山本和成	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
135 同時多発火災に対する初動時の最適消防力運用に関する研究	川村 聡、関沢 愛、遠藤 真、座間信作、山瀬敏郎、篠原秀明、佐々木克憲	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
136 高層ビルにおけるエレベータ避難の可能性に関する研究（その1）-エレベータ避難モデルの開発-	中濱慎司、池島由華、関沢 愛、海老原学、野竹宏彰	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
137 高層ビルにおけるエレベータ避難の可能性に関する研究（その2）-人員輸送効率からみたエレベータ利用避難の検討-	関沢 愛、海老原学、中濱慎司、池島由華、野竹宏彰	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
138 超高層建築物における避難誘導効果に関する検討	海老原学、大宮喜文、関沢 愛	2004年度日本火災学会研究発表会	2004.5
139 避難誘導戦略が避難安全性確保に与える影響	海老原学、大宮喜文、関沢 愛	2003年度日本建築学会関東支部研究報告	2004.3
140 階段配置バランスと排煙能力が避難安全性に与える影響	坂井 綾、岩崎寛史、大宮喜文、海老原学、関沢 愛	2003年度日本建築学会関東支部研究報告	2004.3
141 高齢者等の居住環境と火災危険の傾向の分析	野竹宏彰、関沢 愛、万本 敦、小林将之、海老原学	2003年度日本建築学会関東支部研究報告	2004.3
142 住宅火災による死者の発生傾向の分析	小林将之、関沢 愛、万本 敦、野竹宏彰、海老原学	2003年度日本建築学会関東支部研究報告	2004.3
143 死者発生リスク軽減に及ぼす住宅用防災設備の効果に関する分析	関沢 愛、野竹宏彰、万本 敦、小林将之、海老原学	2003年度日本建築学会関東支部研究報告	2004.3
144 同時多発火災に対する初動時の最適消防力運用効果の評価	関沢 愛、遠藤 真、座間信作、山瀬敏郎、篠原秀明、佐々木克憲、川村 聡	平成15年度地域安全学会研究発表会	2003.11
145 地震被害情報の共有と活用への1つの試み	座間信作、遠藤 真、細川直史、関沢 愛、高梨健一、渡邊洋己	平成15年度地域安全学会研究発表会	2003.11
146 防災センター要員の自衛消防活動上の対応行動データの活用方法	海老原学、野竹宏彰	2003年度日本建築学会大会学術講演会	2003.9
147 死者発生リスク低減に及ぼす火災感知器の効果に関する統計的分析	関沢 愛、野竹宏彰	2003年度日本建築学会大会学術講演会	2003.9
148 住宅火災における死者発生リスクの実態分析	野竹宏彰、関沢 愛	2003年度日本建築学会大会学術講演会	2003.9
149 救急出場件数の増加傾向に関する研究（その1）-事故種別、傷病者の属性別等の分析-	関沢 愛、久保田勝明、吉原 浩、金田節夫	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
150 一般住民の救急要請に関する研究 その1 救急車利用時の状況	吉原 浩、金田節夫、久保田勝明、関沢 愛	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
151 一般住民の救急要請に関する研究 その2 救急車要請の判断基準及び救急サービスへの期待	金田節夫、吉原 浩、久保田勝明、関沢 愛	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
152 救急出場件数の増加傾向に関する研究（その2）-都道府県別の検討-	久保田勝明、金田節夫、吉原 浩、関沢 愛	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
153 建築物のライフサイクルに対応した火災リスク評価モデル	掛川秀史、野竹宏彰、村田明子、広田正之、海老原学	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
154 建築物のライフサイクルを考慮した火災リスク要因の分析	村田明子、掛川秀史、野竹宏彰、広田正之、海老原学	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
155 ライフサイクル火災リスクのケーススタディ	野竹宏彰、掛川秀史、村田明子、広田正之、海老原学	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
156 住宅火災における高齢化の問題点	矢代嘉郎、野竹宏彰、海老原学	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
157 高齢化と住宅種別を考慮した住宅火災の予測手法	野竹宏彰、矢代嘉郎、海老原学	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5
158 住宅防火対策の普及を考慮した火災死傷者数の分析	海老原学、矢代嘉郎、野竹宏彰	平成15年度日本火災学会研究発表会	2003.5

次ページに続く

消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績（続き） 2004年1月-2010年1月まで

解説

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年（西暦）
1 The book review of Ref No.1388: "Risk Analysis in Building Fire Safety Engineering"	Sekizawa, A.	Fire Safety Journal	Vol.44 No.2, pp.286-287, 2009.02
2 就任あいさつ - 日本火災学会の60周年を元気に迎えるために	関沢愛	日本火災学会「火災」	Vol.59, No.4, 通巻301号, pp.1 (2009.8)
3 地震火災時における自主防災組織の消火活動上の課題 - その2: 実験結果から明らかになった課題とその改善策に関する検討	橋本圭祐・関沢愛	日本火災学会「火災」	Vol.59, No.4, 通巻301号, pp.7-12 (2009.8)
4 性能設計時代の建築防火と消防防災	関沢愛・野竹宏彰	消防大学校「消防研修」	平成21年9月号, pp.109-127, (2009.9)
5 文化財建造物にも「防災計画書」を	関沢愛	文化庁月報	平成21年9月号 (No.492), (2009.9)
6 住宅火災に潜在するヒューマンエラーと火災のリスク	関沢愛・万本敦・本多一賢	日本火災学会「火災」	Vol.58, No.4, 通巻295号, pp.20-25 (2008.8)
7 英国における住宅防火対策の先進事例に学ぶ	野竹宏彰・関沢愛	日本火災学会「火災」	Vol.58, No.4, 通巻295号, pp.40-45 (2008.8)
8 研究室リレー: 東京大学・消防防災科学技術寄付講座	関沢愛	日本火災学会「火災」	Vol.58, No.5, 通巻296号, pp.63-66 (2008.10)
9 高齢社会での住宅防火を考える	関沢愛	マンション管理センター通信	通巻275号, pp.2-5, (2008.11)
10 地域の自主防災力への期待と現実...その課題は何か	関沢愛	広報消防基金	平成20年10月号, pp.6-7, (2008.10)
11 住宅防火対策に力を入れる英国の現状	関沢愛	消防試験センターだより VOICE (巻頭言)	平成20年12月号, (2008.12)
12 米国、カナダにおける防災品の規制及び普及の最新動向について	関沢 愛	日本防災協会 防災ニュース	No.171, (2007.10)
13 1923年(大正12年)関東大震災・火災被害の実態と特徴 -	関沢 愛	内閣府 広報「ぼうさい」	No.40, 2007年7月号 (2007.7)
14 出火防止は防火対策の基本	関沢 愛	近代消防社「近代消防」	Vol.552, 2007年2月号 (2007.2)
15 性能設計時代の建築防火と消防防災	関沢 愛	日本検定協会「検定協会だより」	第313号, (2007.1)
16 住宅火災による死者発生リスクと高齢社会	関沢愛・野竹宏彰	日本火災学会「火災」	Vol.56, No.6, 通巻285号 (2006.12)
17 同時多発火災に対する最適消防力運用とその効果に関する研究 - 同時多発火災に対して消防力ほどの程度有効か? -	関沢 愛、遠藤 真、座間信作、山瀬敏郎	東京法令出版「月刊消防」	通巻324号, (2006.8)
18 高層ビル火災におけるエレベータ避難の課題	関沢 愛	日本損害保険協会「予防時報」	通巻第226号, pp.44-49 (2006.6)
19 欧州における防災品の規制及び普及の最新動向について	関沢愛・小林将之・小林裕	日本防災協会 防災ニュース	No.166, (2006.4)
20 欧州における防災品と住宅防火の最新動向について	小林裕・小林将之・関沢愛	日本火災学会「火災」	Vol.56, No.1, 通巻280号 pp.25-30 (2006.2)
21 性能設計時代の建築防火と消防防災 主旨説明	関沢 愛	2006年度日本建築学会大会(近畿) 防火部門 研究協議会	2005.8
22 ニュージーランドの建築基準と火災安全について	Geoff Thomas Dr., (訳 関沢 愛)	日本火災学会「火災」	Vol.55, No.3, 通巻276号 (2005.6)
23 高齢社会と火災リスク	小林将之	日本火災学会「火災」	Vol.54, No.4, 通巻271号 (2004.8)
24 世界各国の火災コストについて - 世界火災統計センターの調査報告から -	関沢 愛、名取晶子	日本火災学会「火災」	Vol.54, No.3, 通巻270号 pp.36-40 (2004.6)
25 都内の地下鉄に関して日頃感じる危うさ	海老原学	日本火災学会「火災」	Vol.54, No.3, 通巻270号 pp.31-35 (2004.6)
26 韓国における防火技術者の国家資格制度とその職能	関沢 愛、李 義平	日本火災学会「火災」	Vol.54, No.1, 通巻268号, pp.32-37 (2004.2)
27 東京大学大学院の「消防防災科学技術寄付講座」	関沢 愛	安全工学協会「安全工学」	Vol.43, No.1, 通巻238号, pp.64-65 (2004.2)
28 同時多発火災に対する最適消防力運用効果の評価 - 消防活動支援情報システムを用いたケーススタディ -	関沢 愛、遠藤 真、座間信作、山瀬敏郎、川村 聡	東京法令出版「消防防災」	Vol.3, No.1, 通巻第7号, pp.94-101 (2004冬)

次ページに続く

消防防災科学技術寄付講座における研究発表実績（続き） 2004年1月-2010年1月まで

著書

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年（西暦）
1 災害情報論(一部執筆)	廣井悠	弘文堂	2008.12
2 巨大地震災害へのカウントダウン - 東海・東南海・南海地震に向けた防災戦略 - (一部執筆)	廣井悠	東京法令出版	2009.06
3 それでも「木密」に住み続けたい - 路地裏で安全に暮らすための防災まちづくりの極意 (共著)	後藤治・関沢愛・三浦卓也・村上正浩	彰国社	2009.10
4 災害危機管理論入門-防災危機管理担当者のための基礎講座-(一部執筆)	廣井悠	弘文堂	2008.4
5 1923関東大地震報告書 第2編 (一部執筆)	関沢愛	中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」	2008.10
6 安全・安心の基礎知識 (一部執筆)	関沢 愛	全国危険物安全協会	2004.3

講演

題名	発表者名、著者名	発表誌名、主催機関名等	巻号・掲載年（西暦）
1 他者依存性を考慮した防災行動モデルの提案-防災ブームは起こりうるか?-	廣井悠	南山大学都市のORウインターセミナー	2008.12
2 意思決定論からみた防災計画の制度設計	廣井悠	国土交通省国土技術政策総合研究所	2009.07
3 火災リスクと住宅火災	関沢愛	日本火災報知器工業会主催講演会	2009.01
4 消防用設備等の設置基準の性能規程について	関沢愛	消防大学校講義予防科 第85期	2009.02
5 地震時における同時多発火災と消防 - 何ができて何ができないか -	関沢愛	東京工業大学「都市地震災害マネジメント」シンポジウム	2009.06
6 地震時の火災被害の特徴と対策 - 阪神・淡路大震災から教訓を学ぶ	関沢愛	宇都宮市民大学講座「災害のメカニズム - 防災に役立つ基礎知識」	2009.06
7 消防用設備等の設置基準の性能規程について	関沢愛	消防大学校講義予防科 第86期	2009.08
8 Study on Feasibility of Elevator Use for Fire Evacuation in a High-rise Building	Sekizawa, A	2009 International Symposium of Fire Science and Fire-protection Engineering, October 2009, Beijing, China	2009.10
9 Care of Vulnerable Populations: Who are Vulnerable to Fires and What Care is needed for Their Fire Safety?	Sekizawa, A.	2009 International Symposium on Fire Safety Management and Evacuation Program for Health Care Facilities, November 2009, Taipei, Taiwan	2009.11
10 Overview of Fire Service in Japan	Hiroi U.	日中都市公共安全セミナー Tsinghua University	2008.4.7
11 リスク認知形成モデルの検討と課題	廣井悠, 小出治, 加藤孝明	第3回防災計画研究会, 京都大学	2008.11.24
12 都市防災計画とOperations Research-意思決定論的見地からみた安全な都市空間の形成手法-	廣井悠	南山大学オープン・リサーチ・センター公開研究会	2008.7.25